

応答メッセージ

留守番電話（グループ／個別）でボイスメールが着信に応答したときに流すメッセージです。

応答メッセージには、あらかじめボイスメールで用意している共通応答メッセージとユーザが録音できる応答メッセージとがあります。

■共通応答メッセージ

あらかじめボイスメールで用意されている共通の応答メッセージです、新たに応答メッセージが録音されていない場合は、この共通応答メッセージが流れます。

共通応答メッセージは次のとおりです。

応答メッセージ番号	種類	音声ガイダンス内容
1	応答メッセージ1	「本日の業務は終了しました。ご用件のある方はピーツという発信音のあとにメッセージをお話してください。」
2	応答メッセージ2	「只今、席を外しています。ご用件のある方はピーツという発信音のあとにメッセージをお話してください。」
3	応答メッセージ3	「只今、外出しています。ご用件のある方はピーツという発信音のあとにメッセージをお話してください。」
4	応答専用メッセージ1 ^注	「只今、留守にしております。恐れ入りますが後ほどおかけ直してください。」
5	応答専用メッセージ2 ^注	「本日の業務は、終了いたしました。恐れ入りますが、就業時間におかけ直してください。」

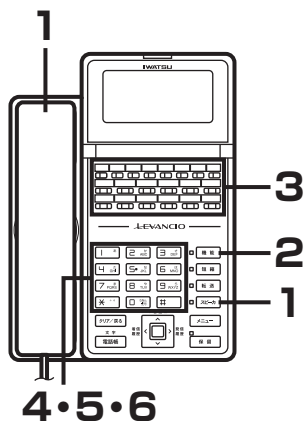
注：応答専用メッセージ1、2は応答専用です。メッセージ録音しない場合に使用するものです。

Note

- 共通応答メッセージは消去できません。同一番号に応答メッセージを録音すると、その録音内容が優先されます。しかし、録音した応答メッセージを消去すると、ふたたび共通応答メッセージが流れます。
- ボイスメールの全てのチャンネルがビジーの場合は、応答メッセージの録音／再生／消去の操作はできません。

応答メッセージを録音する

共通応答メッセージとは別に、留守番電話（グループ／個別）でボイスメールが着信に回答したときに流すメッセージを録音することができます。



Note

- 「ボックス」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 同報ボックスには録音できません。
- あらかじめ録音開始音の設定が必要です。

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
※「スピーカ」ボタンを押した場合は、応答メッセージを録音する際に、受話器を上げて録音してください。

2 「機能」ボタンを押します。
「機能」ボタンが赤色で点滅します。

3 応答メッセージを録音するボックスの「ボックス」ボタンを押します。
「暗証番号をダイヤルしてください。」のガイダンスが流れます。
該当のボックスボタンが赤色で点灯します。

ボイスメールアクセス

4 暗証番号（設定パスワード）をダイヤルします。
「留守番応答のメッセージ番号をダイヤルしてください。」のガイダンスが流れます。

5 留守番応答のメッセージ番号（1～5）をダイヤルします。
「録音は「1」、再生は「2」、消去は「3」をダイヤルしてください。」のガイダンスが流れます。

11111

6 「1」ボタンを押します。
「録音を開始します。ピーという発信音の後にメッセージをお話してください。録音の終了は、「#」をダイヤルしてください。」のガイダンスが流れます。
開始音（ピー）の後に録音が始まります。

111111

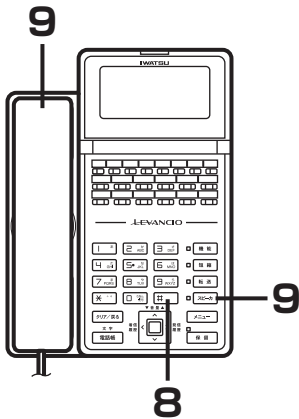
7 応答メッセージを話します。

ボイスメールアクセス

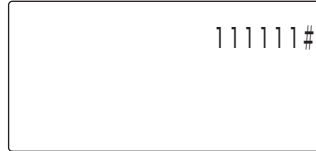
（次ページへ続く）

応答メッセージ

(前ページの続き)



- 8** 応答メッセージを話し終わったら、「#」ボタンを押します。
「録音を終了しました。」のガイダンスが流れます。
録音を終了した後、手順(5)のガイダンスが再度流れます。



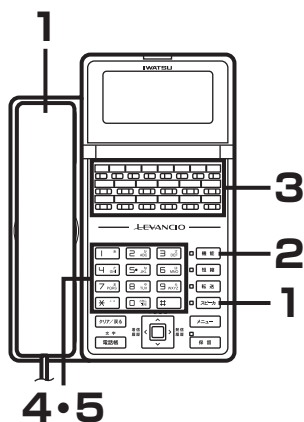
- 9** 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。
該当のボックスボタンが消灯します。

 **Note**

- 入力した暗証番号(設定パスワード)が間違っていると、入力エラーのガイダンスが流れます。正しく入力しなおしてください。なお、ガイダンスが流れている間は入力できません。
- 応答メッセージの録音上限時間は1分です。それを超えると録音は中止され、その時点までの録音が保存されます。

応答メッセージを再生／消去する

登録された応答メッセージを再生、消去することができます。



Note

- 「ボックス」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

2 「機能」ボタンを押します。
「機能」ボタンが赤色で点滅します。

3 応答メッセージを再生または消去するボックスの「ボックス」ボタンを押します。
「暗証番号をダイヤルしてください。」のガイダンスが流れます。
該当のボックスボタンが赤色で点灯します。

ボイスメールアクセス

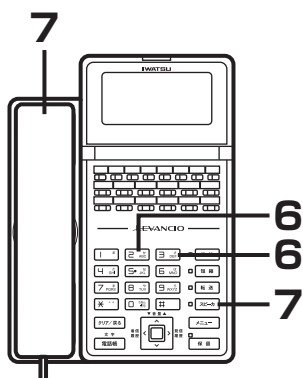
4 暗証番号（設定パスワード）をダイヤルします。
「留守番応答のメッセージ番号をダイヤルしてください。」のガイダンスが流れます。

5 留守番応答のメッセージ番号（1～5）をダイヤルします。
「録音は「1」、再生は「2」、消去は「3」をダイヤルしてください。」のガイダンスが流れます。

11111

応答メッセージ

(前ページの続き)

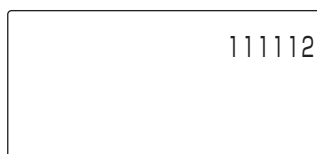


6 録音されたメッセージを聞くとときは「2」ボタン、消去するときは「3」ボタンを押します。

●「2」を押したときは

→録音されたメッセージが再生されます。

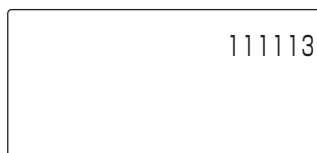
メッセージが再生された後、手順（5）のガイダンスが流れます。



●「3」を押したときは

→「もう一度、「3」を押すと消去します。」のガイダンスが流れるので、再度、「3」を押してください。

「メッセージを消去しました。」のガイダンスが流れ、メッセージが消去されます。メッセージが消去された後、手順（5）のガイダンスが流れます。



7 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

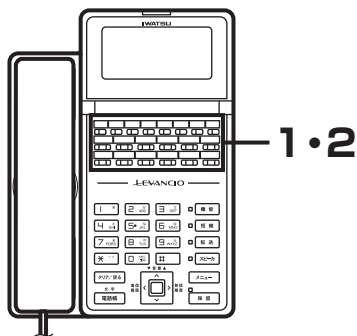
該当のボックスボタンが消灯します。

Note

- 入力した暗証番号（設定パスワード）が間違っていると、入力エラーのガイダンスが流れます。正しく入力しなおしてください。なお、ガイダンスが流れている間は入力できません。

応答メッセージを選択する

グループ留守番電話機の応答メッセージを、ユーザが録音したメッセージまたは共通応答メッセージの合計5種類のメッセージから選択できます。



Note

- 「留守番」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 応答メッセージの選択は、留守機能が解除されている状態で操作してください。

1 留守番電話グループに属する電話機で、受話器を置いたまま、「留守番」ボタンを押します。

応答メッセージが流れます。

「留守番」ボタンが赤色で点灯します。

応答メッセージ 1

11

2 希望の応答メッセージが再生されるまで、繰り返し「留守番」ボタンを押します。

●希望の応答メッセージが再生されたら

その応答メッセージが終わるまで待ちます。

再生が終わるとメッセージが選ばれます。

再生を途中でオンフックしても選択されます。

応答メッセージ 2

11

Note

- ボイスメールの全てのチャンネルがビジーの場合は、操作できません。
- グループ留守番電話の応答メッセージの切り替えは、その留守番電話グループに属する電話機から操作してください。
- 留守番電話グループに属する電話機から応答メッセージの切替えを行っているときには、他の電話機から留守番電話の開始/終了の操作はできません。
- 応答メッセージの選択は、次に応答メッセージが切替えられるまで有効です。グループ留守番電話を開始しても変化しません。
- 「メニュー」ボタンの操作でも同様の設定が行えます。（「留守録応答メッセージを選択する」(6-6ページ)）